

公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会
令和6年度 第3回 ハイブリッド理事会報告

- 日 時：令和6年5月9日(木) 14:00—17:00
○場 所：JSOSビル3F会議室10とWebのハイブリッド会議
○出席者：蛭田・吉田各副会長、小野寺専務理事、古賀・町田・望月・濱田（途中退席）・安井（途中退席）・栗田・赤尾常務理事、佐藤・前田・野村・小高・中橋・山口（第5号議案まで）・島田・西谷・畑中・平田・中島・小田部（途中退席）各理事以上22名
古屋、佐久間各監事 以上2名
○欠 席：丸会長、飛松副会長、杉本・樋口理事 以上4名

1. 開 会

2. 蛭田副会長挨拶

本日丸会長欠席で、丸会長が5月末日で会長の職を辞任することに伴い、登記簿の変更が必要。6月初めからの会長を、本日の理事会で決めたいのでご協力をお願いしたい。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時26名中20名出席 監事数 2名中2名出席
(定款第33条、定足数=14名(1/2以上))

4. 議長選出

丸会長が欠席のため、蛭田副会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

副会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号：第2回理事会議事録(事前配布済)について、異議なく承認された。

議案第2号：新役員について

会長の選任について

会長立候補者を確認するが、立候補者なし。その後、蛭田筆頭副会長から限られた期間で、新たな理事を選出するのは難しいので、現行理事の中から選びたい。常務理事会では、筆頭副会長である自分が代表理事とならざるを得ないとなったが、皆様のお考えはいかがと問いかけた。

その後、会長の推薦者の有無を確認したところ、町田常務理事、野村理事から、47都道府県とのつながりと、JMCAとしての信頼を得るという観点から古賀常務理事が推薦された。

その後、各理事の意見を一人ずつ確認し、以下の意見が出た。

- *会長は、関東近辺が良いのではないか。
- *蛭田副会長が筆頭副会長として、人事案を今まで取りまとめてきたので、会長として蛭田副会長にお願いしたい。
- *皆で意見を出し合い、正しい方向となるよう協力しあえればと思う。
- *今後のJMCSA再建のために、加盟団体からの理解と協力は必須で、PTとして取りまとめた実績から古賀常務理事に会長をお願いしたい。
- *蛭田副会長が調整力、実行力を発揮して、組織の是正に向けて対応していくことに期待したい。

上記の結果、以下の2名の候補者について、推薦理事数をまとめた。

蛭田副会長推薦理事者数 : 17名

古賀常務理事推薦理事者数 : 2名 という結果から、

蛭田副会長が令和7年定時総会までの任期で会長となることが承認された。

役員案について

蛭田副会長が、現行理事体制で対応することを前提に、画面上に、方針と役員案を表示し、次の内容を補足した。

- *古賀常務理事に筆頭副会長をお願いしたい。
 - 古賀常務理事から、副会長業務や、定款規程の見直し、PTの業務、共済会員数の増加を行うとなると、登山部長の業務ができないので、野村副登山部長に登山部長をお願いしたい。
 - 野村理事は、やむをえないと考え、登山部長を受諾する方向と返答した。
- *望月常務理事：専務理事、事務局をサポートする。
- *マーケティング委員長として、小田部理事に常務理事をお願いする。
- *事務局は、システムサポート、理事会報告の早期伝達の方法を考える。
- *役員選考規程や、役員選考委員規程等の見直しを考えると山口理事に常務理事となってほしい。
- *委員会の委員長、現行理事は、現状の体制のままだが、SC部、登山部とも主管理事、担当理事を見直す予定。

議案第3号 令和5年度決算について

赤尾事務局長が配布資料をもとに、速報値を紹介した。

収支について：最終損益はマイナス3,800万円の見込み。

正味財産見込みは、1,900万円となり、債務超過は免れる見込み。

議案第4号 令和5年度報告（総括）について

小野寺専務理事が状況を説明し、次回6月6日の理事会で採決することを伝えた。当総括に、財政再建準備委員会を、3月14日理事会で立ち上げたことをいれることにした。

議案第5号 基金申込者の名簿について

臨時総会で基金申込者名簿の公開をもとめられた件について、理事会として意見をまとめたいということで、以下の意見が出た。

- * 常務理事、理事は詳細を知っておく必要があるのではないか。
 - * 公には、金額は出さず、氏名、団体名等をだしたらどうか。
 - * 2022年度の理事にも責任があるのではないのか。岳連に依頼する前に、一口以上基金に協力するのが筋ではないかといわれている。
 - * 基金返済時には、総会で氏名、基金金額を公表せざる得ない。
 - * 公表しないならば、その理由を明確に伝える必要がある。
- 引き続き調査を継続し、公表するしないの提案を後日行うことになった。

蛭田副会長が、2022年度の理事（2022年度で退任、2023年度継続を含む）で基金拠出していない理事、監事には、別途メールで協力依頼することを提案し、異議なく承認された。

議案第6号 定時総会について

二次基金募集をするかどうか。オリンピックで資金不足は、さげたいという声もある。定時総会時には、キャッシュフローの状況を含め、判断し提案したい。

小野寺専務理事が、当日の議事内容（案）について説明した。その後、1月度理事会で“全役員が職を辞して、6月の総会で信を問う件について”決議した件の撤回について、以下の意見がだされた。

- * 赤字決算の詳細は、わかりやすい説明が必要。
- * 撤回するならば、現状の詳らかな説明と、財政再建に時間がないこと、辞任では責任がとれないことを伝える。
- * 内容を撤回せず、総会で信任を問うと（提案）してはどうか。
- * SC競技については昨年4-6月の状況と、7月以降の状況を明確に分けて説明した方がわかりやすい。
- * 1月度の議事録に残っているので、撤回しないと、決議した通りにせざるを得ない。現体制でいくことの理由と背景を、総会で説明し、ご理解をいただけるように説明してはどうか。

1月の議事録の内容の撤回について、異議なく承認された。

反対 ゼロ、棄権 ゼロ、賛成 全員

議案第7号 SC指導委員会規程、規約変更について

小野寺専務理事が配布資料を基に、環境の変化に応じた文言の変更や、表現上の訂正をし、整合性をとった旨の説明をした。その後、当変更について採決し、異議なく承認された。

反対 ゼロ、棄権 ゼロ、賛成 全員

7. 報告

報告第1号 キャッシュフローについて

赤尾事務局長が、配布資料を基に説明した。

1. みずほ銀行からの借入条件変更について

*借入の管理が 支店 → 本店へ変更になった。

*借入限度額 1億1,000万円 → 補助金、助成金額による

*借り換え等 随時延長が可能 → 一度全額返済、実行可能上限額が随時見直しすることになった。

補足) 借入上限額は、1億1,000万円 → 補助金、助成金額マイナス概算払い金額なので、今期は約6,000万円しか借入できない見込み。補助金、助成金額が入金時(4月、5月)に、借入金額は全額返済する必要があり、厳しい条件になってくる。

2. キャッシュフローの状況

篤志家への返済(5,000万円)、銀行への返済(8,000万円)は可能。その後、できるだけ概算払いの仕組みを実施、銀行借入(約6000万円)も実施していく。計算精度について、支払い金額は、予算数値だけでなく、過去の支出実績も参考にして出した方が、より現実の数値に近いかもしれない。

報告第2号 アジア山岳連盟30周年記念事業進捗について

小野寺専務理事、蛭田副会長が配布資料(7/23-7/27で実施予定)を基に説明した。海外あてにCalling Notice を出した。JMCSA関係で70人くらい集める必要があり(参加者は自腹で費用負担)、7/26式典に参加してほしいと呼びかけた。委員会にも案内と協力依頼を出した方がよいという意見が出た。

報告第3号 山岳共済会令和5年度決算、令和6年度予算について

次月に説明。スポーツライミングからも委員として参加するようにしてほしい。

報告第4号 超党派「山の日」議員連盟第25回総会について

小野寺専務理事が配布資料を基に説明した。今後は、登山部の
人に参加してもらった方がよいかもしれない。

小野寺専務理事が、以下の第5号から第9号について、各自読んで
おくように伝達した。

報告第5号 後援依頼「日本山岳写真協会」展について

報告第6号 後援名義申請「登山医学会DiMM」について

報告第7号 SC競技委員常任委員について

報告第8号 SKIMO強化指定選手について

報告第9号 2024年度スピード強化選手について

8. その他 町田SC部長が、マーケティングパートナーとの契約につい
て状況の説明をした。

令和 6年 5月9日

記録 赤尾 浩一

議事録署名人

以 上